

富士見町 ニュージージーランドから留学生

トマト収穫や養蜂体験 富士見中で日本文化学習

富士見町は18日から、町の友好都市ニュージージーランド・リッチモンドにある中高一貫校ワイメアカレッジから留学生2人を受け入れている。同町富士見中学校に在籍し、生徒と給食を食べたり授業を受けたりして日本文化を学習。

19日は富士見高校（同町）園芸科の生徒と交流し、トマトの収穫や養蜂を体験した。1990年度以降、留学生の交換事業を実施している同町。今回はコロナ禍の影響で2018年以来的の受け入れと

なり、アニカ・マッキンタイアさん(17)とローレン・エアさん(17)が訪れた。

留学生2人は、同高校園芸科野菜・食品コース3年生の案内でトマト収穫を行った。生徒から水耕栽培の方法や、東京五輪の選手村の食事として同コースのトマトが提供されたことなどを英語で聞いた。収穫では両手いっぱいにとマトを採り、ホストファミリーに贈るために袋詰めもした。

養蜂体験では、養蜂部から



活動を英語で紹介され、実際に巣箱の近くまで行つて巣や蜂を見学。同部が採ったはちみつも試食し、「おいしい」と笑顔を見せた。

「トマトの収穫が楽しかった。とても良い歓迎してくれる雰囲気伝わった」、ローレンさんは「みんな優しく、体験が多くて楽しかった。とても良い経験になった」と話した。最終日となる20日は町内を観光して帰路に就く予定。

(濱翔貴)

富士見高校養蜂部の案内で巣箱を見学するローレン・エアさん(左)とアニカ・マッキンタイアさん

アニカさんは「トマトの収穫が楽しかった。